

## 生活単元学習指導案

指導者 中崎 光則 T<sub>1</sub> 本多美奈子 T<sub>2</sub> 高見美保子 T<sub>3</sub>

1 日時 平成28年7月1日(金) 公開授業① 第1校時

2 学級 1・2・3年5組 男子8名 女子9名 合計17名 南校舎1階集会室

3 単元名 上中祭ステージ発表を成功させよう

### 4 単元について

本単元「上中祭ステージ発表を成功させよう」は、自分達が楽しんで発表し、見ている人達にも喜んでもらうという目的意識のもと、生徒たちがみんなで一つのものを創り上げようと共同で取り組み、生徒個々の表現力を高めることを目指している。このステージ発表は、観客を感動させるものであり、発表した生徒は大きな満足感や成就感を味わえるものである。本校の特別支援学級において、上中祭のステージ発表は、学校生活の中で最も力を入れたい活動であり、生徒たち自身も楽しみにしている活動である。また、校内においては、特別支援学級の発表が文化部等と並び、ステージ発表の一つとしてしっかり位置づけられている。これまで生活単元学習では、生徒が意欲をもって主体的に活動することができるように、自己選択や自己決定の活動に意図的に取り組んできた。本単元においても、自己選択や自己決定の場面を多く取り入れながら活動内容を計画したいと考えている。

本学級は、1年5名、2年7名、3年5名の17名である。生徒たちは、異なる背景からさまざまな特性をもっている。選択に関しては、ほとんどの生徒が自己選択や自己決定ができるものの、面白そう、楽しそうなど興味・関心のもとに選択する生徒や、やったことがあったり聞いたりした経験のもとに選択する生徒、周囲に影響されながら感覚的に選択する生徒、いくつかの要素を合わせながら吟味して選択する生徒などさまざまである。表出に関しても、筋道立てて話すことができる生徒、たどたどしいが自分の考えを話す生徒、教師とのかかわりを通して話すことができる生徒などである。共同で取り組むことについては、誰とでも一緒に活動できる生徒がほとんどだが、自らかかわろうとすることが苦手な生徒もいる。身体的表現については、言語面の苦手さとは逆に生き生きと身体表現する生徒や模倣も難しい生徒など個人差が大きい。

本単元を指導するにあたっては、意欲をもって主体的に取り組むことができるようにするために、自分たちでテーマを決めることや、役割分担・パートを決めることなど、自己選択や自己決定の場面を多く取り入れながら学習を進めたい。自己選択や自己決定の視点としては、自分たちが楽しむだけでなく、周囲にも喜んでもらうことなど、目的意識を明確にしたい。その目的に向かって練習を頑張ることで、生徒たちに十分な達成感や満足感を味わわせたい。また、身体的な表現を習得する際には、お互いに見合うことやアドバイスをし合うことで、みんなで一つのものを創り上げようとする態度を育てたい。さらに、本単元を進めるにあたっては、音楽や体育などの教科とも関連させながら、生徒の特性を生かした個に応じた指導を工夫していきたい。

### 5 指導と評価の計画(別紙)

### 6 本時の達成目標

#### <全体目標>

- ・ 知りえた情報や過去の経験をもとに、根拠をもって自分が発表したいテーマを選んでいる。
- ・ 理由が分かるように話している。

#### <個人目標>

C・I	A・B・D・E・H・J・M・N・Q	F・G・K・L・O・P
3つのキーワードから根拠を見つけてテーマを選んでいる。	すべてのキーワードから根拠を見つけてテーマを選んでいる。	比較したことを根拠にテーマを選んでいる。
C・D・E・I	A・B・H・J・M・N・Q	F・G・K・L・O・P
キーワードを使って話している。 〈生徒の記述例〉 ・海の中がきれいだからリトルマーメイドです。 ・「美女と野獣」を演奏したいです。	なぜならの話型とキーワードを使って話している。 〈生徒の記述例〉 ・101匹わんちゃんです。なぜなら白と黒のプチのイヌがかわいいからです。	比べたことが分かるように話している。 〈生徒の記述例〉 ・ライオンキングと美女と野獣を比べると、ライオンキングが好きで、美女と野獣よりも楽しく発表できそうだから、ライオンキングがいいと思います。

## 7 本時の指導構想

### (1) 本時のねらい

本時は、ステージ発表のテーマについて、前時までに出された候補の中から、知りえた情報や経験をもとに、根拠をもって自分が発表したいテーマを選び、理由が分かるように話す力を育むことをねらっている。

### (2) 「論理の意識化を図る学習活動」にかかわって

#### 【考えがいのある課題設定】

学習課題を「楽しくダンスや演技や演奏をするには、どのテーマがよいか」と設定する（2 学習課題を把握する。）。

特別支援学級の生徒にとって「考えがいのある課題」は、より切実感のある課題が望ましいと考えた。そこで、発表するテーマを決めるにあたって、自分の興味・関心だけでなく、みんなでやりがいをもってできそうなもの、ステージの発表として成り立ちそうなものなど、現実的な条件を含めて、さまざまな視点から選択し、17人全員が楽しんでできるテーマを、理由を考えることで切実感をもたせたいと考えた。

課題解決の基になるのは、前時まで学習した「過去に体験したり鑑賞したり、興味をもっていたりするテーマそれぞれの特徴とステージ発表の構成」である（1 前時の学習を振り返り、見学場所について確認する。）。

#### 【「論理の思考型」を用いた言語活動】

演繹的思考「～です。なぜなら～」、類別思考「～と～を比べると、～」、帰納的思考「～です。だから～」を用いて考えさせたい。「a がいいと思います。なぜなら a を修学旅行でみて感動したからです。」や「b と c を比べると、b は自分の好きなテーマで、c よりも楽しく発表できそうだから c がいいと思います。」「d は今までやったことがないテーマです。だから d がいいと思います。」ということを記述、発言できるようにしたい（3 発表するテーマを選ぶ。）（4 自分の考えを発表する。）（6 選んだテーマを見直し最終決定する。）。

#### 【かかわり合い】

他の生徒の発表を聞き、自分の考えとの違いや相手の考え方を理解し、参考になる内容に気づいて自分の見方を広げられるようにしたい（4 自分の考えを発表する。）（5 他の生徒の考えで気づいたことを発表する。）。

#### 【自己評価活動】

終末においては自己評価活動を行う（8 自己評価をする。）。

本時の学習でできたことや、自分の考えた道筋の振り返りを、生徒の実感として記述、発言できるようにする。

8 本時の展開

段階	学習活動	指導・支援	評価の視点・方法	教材・教具等
導入 10	1 前時の学習を振り返り，選択するテーマについて確認する。 2 学習課題を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時を振り返り，候補にあがったテーマについての説明を確認し，選択するための視点とする。</li> <li>テーマの特徴をキーワードとしてあげ，選択する際の手掛かりになるようにする。</li> </ul>		写真カード 板書カード
楽しくダンスや演技や演奏をするには，どのテーマがよいか				
展開 35	3 発表するテーマを選ぶ。(1回目) 【自己決定】  4 自分の考えを発表する。 【かかわり合い】  5 友達の考えで気づいたことを発表する。 【かかわり合い】  6 選んだテーマを見直し最終決定する。 【自己決定】  7 学習課題を振り返り，本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表したいテーマを1つ選ぶ。</li> <li>理由がはっきり分かる書き方になるように，個に応じた学習シートにする。</li> <li>T<sub>2</sub>・T<sub>3</sub>はB・C・Iにキーワードを示すことによって，判断できるようにする。</li> <li>話型カードを示し，「～です。なぜなら～」 「～と～を比べると，～」 「～です。だから～」の話型で発表できるようにする。</li> <li>お互いの違いに気付かせる言葉がけをし，選んだテーマや理由について意見を出し合えるようにする。T<sub>2</sub>・T<sub>3</sub>は生徒の発言を聞きながら，強調したい内容を全体に投げかけるようにする。</li> <li>友達の意見を聞いて考えが変わった場合でも，1回目の選択と同じでも，理由が分かるように記述できるようにする。T<sub>2</sub>・T<sub>3</sub>は考えを変えた生徒と話すことにより，理由の明確化を図る。</li> <li>自分の考えで選択し理由が分かるように伝えられたことについて賞賛する。自己評価につながるよう，特に考えの変容については強調する。</li> </ul>	3・6 知りえた情報や過去の経験をもとに，根拠をもって自分が発表したいテーマを選んでいる。 (記述) <b>【指導の手立て】</b> (C・I) キーワードを少なくし判断できるようにする。 (A B D E H J M N Q) 分かりやすいキーワードにする。 (F G K L O P) 比べる要素を明確にする。K・Pには要素を減らして提示する。  4・5 理由が分かるように話している。 (発表) <b>【指導の手立て】</b> (C D E I) キーワードを入れて話すようにする。 (A B H J M N Q) 「なぜなら」の話型で話すようにする。 (F G K L O P) 「～と～を比べると」 「だから～」の話型を示す。	学習シート  話型カード  学習シート 名前カード
終末 5	8 自己評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>変容が見られた生徒への個別の言葉がけや学習シートの選択肢などにより，できたことや自分の考えた道筋の振り返りを記述，発言できるようにする。</li> </ul>		学習シート
<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しくダンス(演技，演奏)ができそうなテーマを選ぶことができてよかった。</li> <li>今日は理由が分かるように話すことができてよかった。</li> <li>はじめは〇〇がいいと思っていたけど，△△さんの考えを聞いて，～だから□□に決めました。</li> </ul>				

